

CASBEE-建築(新築)2016年版
ニッポン高度紙工業株式会社米子工場2期計画

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版

欄に数値またはコメントを記入

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質								3.4	
Q1 室内環境					0.30		-	2.7	
1 音環境				2.1	0.15			2.1	
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.40	3.0	-		
1.2 遮音				1.8	0.40		-		
1 開口部遮音性能				1.0	0.60		-		
2 界壁遮音性能				3.0	0.40		-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					-		-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					-		-		
1.3 吸音				1.0	0.20		-		
2 温熱環境				2.6	0.35		-	2.6	
2.1 室温制御				3.0	0.50		-		
1 室温				3.0	0.38		-		
2 外皮性能				3.0	0.25	3.0	-		
3 ゾーン別制御性				3.0	0.38		-		
2.2 湿度制御				1.0	0.20	3.0	-		
2.3 空調方式				3.0	0.30	3.0	-		
3 光・視環境				2.6	0.25		-	2.6	
3.1 昼光利用				2.2	0.30		-		
1 昼光率				1.0	0.60		-		
2 方位別開口					-		-		
3 昼光利用設備		抄紙機室にトップライトを採用		4.0	0.40	3.0	-		
3.2 グレア対策				2.0	0.30		-		
1 昼光制御				2.0	1.00	3.0	-		
3.3 照度		居室の照度500lx～750lxの確保		4.0	0.15	3.0	-		
3.4 照明制御				3.0	0.25	3.0	-		
4 空気質環境				3.6	0.25		-	3.6	
4.1 発生源対策				4.0	0.50		-		
1 化学汚染物質		建築材料にF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用		4.0	1.00	3.0	-		
4.2 換気				3.3	0.30		-		
1 換気量		居室の換気風量30m ³ /h・人以上を確保		4.0	0.33	3.0	-		
2 自然換気性能				3.0	0.33	3.0	-		
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.33	3.0	-		
4.3 運用管理				3.0	0.20		-		
1 CO ₂ の監視				3.0	0.50		-		
2 喫煙の制御				3.0	0.50		-		
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	4.0	
1 機能性				4.1	0.40		-	4.1	
1.1 機能性・使いやすさ				4.5	0.40		-		
1 広さ・収納性		一人あたりの執務スペースを十分確保		5.0	0.50		-		
2 高度情報通信設備対応		通信回線を引き込めるようにケーブルラック・空配管の用意		4.0	0.50		-		
3 バリアフリー計画				-	-		-		
1.2 心理性・快適性				3.3	0.30		-		
1 広さ感・景観		作業エリア天井高2.7m以上		4.0	0.33	3.0	-		
2 リフレッシュスペース				3.0	0.33		-		
3 内装計画		工場としての機能に配慮した内装計画		3.0	0.33		-		
1.3 維持管理				4.5	0.30		-		
1 維持管理に配慮した設計		防水・防汚対策		4.0	0.50		-		
2 維持管理用機能の確保		建物維持管理表の作成を行った		5.0	0.50		-		
2 耐用性・信頼性				3.3	0.30		-	3.3	
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50		-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80		-		
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20		-		
2.2 部品・部材の耐用年数				3.6	0.30		-		
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20		-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				3.0	0.20		-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.10		-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		多湿の排気にはガルバリウムダクトなどを用いた		5.0	0.10		-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		主要な用途上位3種の、2種類以上にB以上を使用し、Eは不使用。		5.0	0.20		-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20		-		
2.4 信頼性				4.0	0.20		-		
1 空調・換気設備		集中管理リモコンによる空調の全体制御が可能		5.0	0.20		-		
2 給排水・衛生設備		節水型器具の採用		5.0	0.20		-		
3 電気設備				3.0	0.20		-		
4 機械・配管支持方法				3.0	0.20		-		
5 通信・情報設備		無停電電源装置の設置やPHSの導入を行っている		4.0	0.20		-		

3 対応性・更新性			4.4	0.30	-	-	4.4
3.1 空間のゆとり			5.0	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	階高3.9m以上のゆとりある空間とした	5.0	0.60	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ	空間プランニングに配慮した形状	5.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり			5.0	0.30	3.0	-	
3.3 設備の更新性			3.6	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性	構造部材を痛めることなく修繕・更新ができる	4.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性	ケーブルラックの採用	5.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性	仕上材を痛めることなく通信配線の更新・修繕ができる	5.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.40	-	-	3.5
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮			4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.5	0.30	-	-	3.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	建物内外を連関させる豊かな中間領域の形成を行っている。	4.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.3
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.0
1 建物外皮の熱負荷抑制			-	-	-	-	-
2 自然エネルギー利用			4.0	0.13	-	-	4.0
3 設備システムの高効率化			[BEI][BEIm] = 0.81	0.63	-	-	2.9
4 効率的運用			3.0	0.25	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.7
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1	節水	節水型器具の採用	4.0	0.40	-	-	
1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.8	0.60	-	-	3.8
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.11	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.22	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.22	-	-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	再生加熱アスファルト混合物、陶磁器質タイル、パーティクルボード	5.0	0.22	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		-	-	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	躯体と仕上材が分別可能	5.0	0.22	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.7	0.20	-	-	3.7
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	-	
3.2	フロン・ハロンの回避		4.0	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	ODP=0かつGWPが低い発泡剤を用いた断熱材等の使用。	5.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.3
1 地球温暖化への配慮			3.4	0.33	-	-	3.4
2 地域環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
2.2	温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.2	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	駐車スペースや搬入動線の確保	4.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.6	0.33	-	-	3.6
3.1	騒音・振動・悪臭の防止		4.0	0.40	-	-	
1	騒音	サイレンサーによる騒音低減	5.0	0.50	-	-	
2	振動		3.0	0.50	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2	風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3	日照障害の抑制	日射障害に配慮した設計	3.0	0.30	-	-	
3.3	光害の抑制		4.4	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	広告照明なし	5.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	